

### 3 研究のまとめ

#### (1) 研究の成果

##### ア 特別支援学級における自立活動の指導の進め方についての提案

特別支援学級における自立活動の指導の進め方について、児童生徒の実態把握から具体的な指導内容の設定までの流れ（プロセス）を提案することができました。

自立活動の指導に当たっては、個々の児童生徒の的確な実態把握に基づき、指導すべき課題を明確にすることによって、個別に指導目標や具体的な指導内容を設定することが重要です。そこで、特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）に示されている自立活動の個別の指導計画の作成と内容の取扱いを基に、それぞれの段階における留意点等について示しました。また、本研究で考える自立活動の指導の流れを示した「流れ図シート」には、それぞれの段階において、どのような観点で整理等をしていくかを示しました。これらを参考にすることで、自立活動の指導の進め方についてのイメージをもつことができるのではないかと考えます。

##### イ 自立活動の指導を進める段階で活用できるシート等の作成

自立活動の指導は、児童生徒一人一人の実態を的確に把握して個別の指導計画を作成し、それに基づいて指導を展開しなければならないため、指導する教師には、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する指導について、一定の専門的な知識や技能が求められます。本研究で実施したアンケート結果からは、特別支援教育経験が浅い教師の割合が高いことや、自立活動の指導に難しさを感じている教師が多いことが分かりました。そこで、自立活動の指導を進める上で活用できるシート等を作成しました。

シート等には、活用の目的や使い方のポイント、使用例を示しました。また、「流れ図シート」には、それぞれの段階で活用できるシート等を示しました。作成したシート等を、教育現場の教師のニーズや経験に応じて活用しながら指導を進めていくことで、指導する教師の専門性の向上につながると考えます。また、シート等の内容を他の教師や保護者等と共有することで、連携協力を図ることもできるのではないかと考えます。

#### (2) 課題と今後の展望

##### 児童生徒の多様な障害の種類や状態等に応じたきめ細やかな自立活動の指導の充実

自立活動の指導は、それぞれの障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服することを目標としているため、必然的に一人一人の指導内容や方法は異なってきます。また、自立活動の指導を効果的に進めていくためには、特別支援学級担当の教師だけでなく、校内全ての教師や関係機関との連携が大切です。

そのため、様々な困難を抱えている児童生徒に対する具体的な自立活動の実践例を提案したり、保護者や関係機関との連携の在り方について探ったりすることで、特別支援学級における自立活動の指導の更なる充実を図っていくことが必要ではないかと考えます。